

## 郡山 略年表

- 645 国郡制の整備により、道奥国（後に陸奥国）が置かれたと伝えられる。  
陸奥国府は多賀城（宮城県多賀城）に置かれ、安積郡の郡衙（郡役所）が清水台に置かれる。
- 906 安積郡を分けて、安達郡が置かれる。
- 1078 白河から外ヶ浜（青森県陸奥湾）までの街道沿いに、等間隔に笠塔婆がたてられる。
- 1333 石河炊余四郎光隆が安積郡笹川城を攻め落とす。  
南朝方の北畠親房・顕家父子、陸奥国多賀城に入る。\*南北朝の争乱（1336～1392）
- 1337 北畠顕家が多賀城から伊達郡霊山に移る。（後に、宇津峰に移る。）
- 1346 南朝方、宇津峰、霊山、藤田を居城とする。
- 1352 宇津峰城が北朝方に攻められ、翌年（1353）陥落する。
- 1399 足利満直、満貞が笹川城、稲村城を居城とする。
- 1541 伊達氏が安積伊東氏を援助し、安積郡に進出する。
- 1543 田村隆顕が芦名領となっていた安積郡を攻め、田村領とする。
- 1574 田村清顕が、二階堂領（須賀川市）、御代田、安積大槻などを攻める。
- 1585 人取橋の戦いが起きる。（伊達政宗 対 佐竹、岩城、芦名などの連合軍）
- 1588 郡山合戦が起きる。（伊達 対 佐竹、芦名など）
- 1590 安積地方が蒲生領（会津領）となる。白河街道が開設される。
- 1591 郡山地方 太閤検地が行われる。
- 1604 徳川家康が、諸街道の修理を命じる。松前道（俗称 奥州街道）も修理される。
- 1615 酒蓋池が築かれる。
- 1643 田村30カ村が二本松領となる。
- 1662 荒池が築かれる。
- 1689 芭蕉が郡山に立ち寄る。
- 1700 松平頼貞2万石を領地とする。（守山藩の成立）
- 1749 安積郡等で百姓一揆が起きる。
- 1767 郡山村火災（490軒消失）。
- 1783 大凶作にみまわれる。
- 1807 郡山大火（1996軒消失）。
- 1824 郡山が村から町に昇格する。
- 1832 郡山町大火（842軒消失）。
- 1868 郡山町、大槻村で打ちこわしが起きる。  
\*安積開拓についてはP25の年表を参照。
- 1899 郡山絹糸紡績会社発電のため、沼上発電所建設。町に電灯点火。
- 1924 小原田村を合併し、市制を施行する。
- 1940 富田村、片平村、大槻町に陸軍部隊設置。
- 1945 市内大空襲。終戦。
- 1964 「常磐・郡山地区新産業都市」に指定
- 1965 安積郡9か町村、田村3か町村合併。
- 1982 東北新幹線開通。
- 1996 中核市指定 翌年（1997）中核市移行。